

Doc.No : NR030512

2003年5月12日

次世代露光ヘッド搭載で生産性を大幅にアップしたサーマルCTPを発売 バリエーションの強化で世界シェア向上を目指す

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野 富次)は、新開発の露光ヘッドを搭載することで生産性を50%(当社従来機比)と大幅に向上させたサーマルCTP(=Computer to Plate)「PlateRite(プレートライト) 8800」を5月30日から販売します。

この装置は、印刷用のデジタルデータをレーザーで刷版(プレート)に直接出力するサーマルプレートレコーダーの新機種で、次世代の光源技術、*GLV™(Grating Light Valve™)を採用した新開発の512チャンネル露光ヘッドによりドラム1回転あたりに描画できる幅を広げ、1時間に最高30版を処理できる高い生産性を実現しました。コストダウンとスピード化が求められている印刷業界で、印刷物を短時間で生産するのに最適な仕様になっています。

現在、当社のCTPは国内市場では60%と高い占有率を持っており、今回の新製品により中小印刷機に対応したのから大サイズ刷版への出力が可能な大型機種、また、コストパフォーマンスを重視したタイプ、生産性を追及した上位機種などさまざまなバリエーションが揃ったことから、世界市場でのさらなるシェア拡大を目指していきます。

2003年度における当社のCTP出荷台数は全世界で約1,500台と見込んでおり、「PlateRite 8800」はそのうちの10%に当たる150台を予定しています。

CTPは印刷業界において、今後ますますの市場の成長が予測されています。現在、世界での年間総出荷台数は約3,500台ですが、2006年には約5,000台まで伸びると見込まれており、当社では「PlateRite 8800」を含めた全機種で、世界市場において約50%を占める約2,500台の出荷を目指します。

*GLV™(Grating Light Valve™)

MEMS(微小電子機械システム)と呼ばれるセンサーや通信、バイオ分野で使用されている半導体技術と光の干渉性を利用した光学原理に基づく技術。半導体素子の基板上に光を反射するリボンを並行に配列した構造で、露光ビームの多チャンネル化が図れる。

※Grating Light Valve™およびGLV™は、Silicon Light Machines(本社：米国)の商標です。

<国内希望販売価格(消費税別)>

5,500万円

<販売開始日>

2003年5月30日

<年間販売予定台数>

150台



PlateRite 8800

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目